

平成30年度決算

一般会計
特別会計

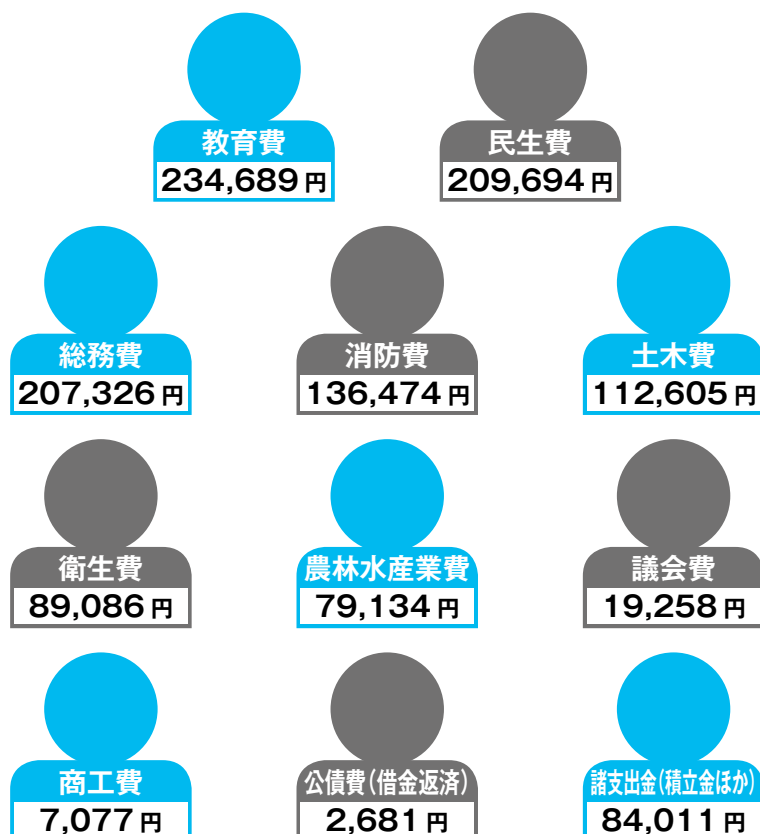
69億円を検証!!



一般会計決算

歳入(財源)	62億3,279万円
歳出(使いみち)	56億6,313万円
差引額	5億6,966万円

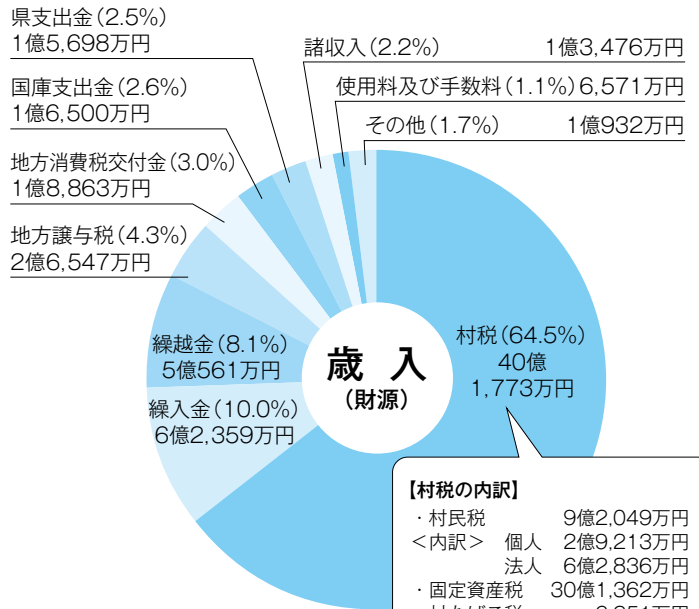
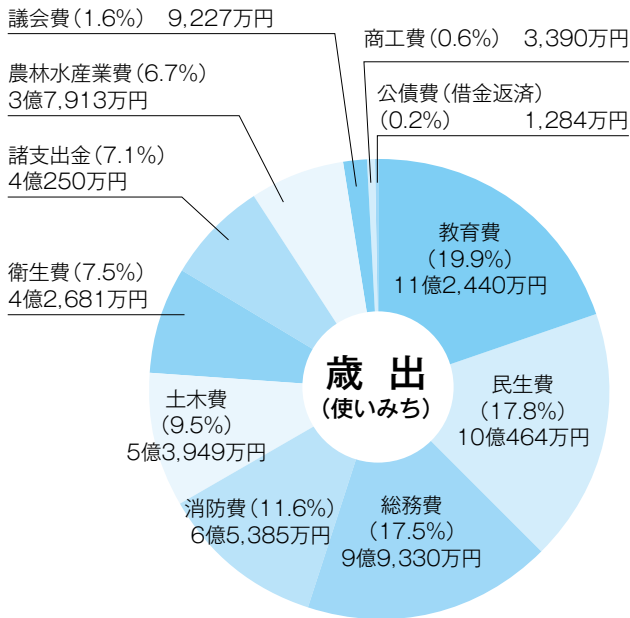
◆歳出総額56億6,313万円を
村民(4,791人)1人あたりにすると… **118万2,035円**



9月定例会のあらまし

9月定例会は、2日に招集され、24日までの23日間の会期で開かれました。工事契約にかかるもの1件、条例制定1件、条例改正4件、補正予算6件、平成30年度の会計決算7件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・認定しました。また最終日には、人事案件3件、議員提案の意見書1件が追加提出され、いずれも原案のとおり同意・採択しました。

一般質問は、会期19日(9月20日)に7人が当面する村政の問題をただしました。



【村税の内訳】

・村民税	9億2,049万円
<内訳> 個人	2億9,213万円
法人	6億2,836万円
・固定資産税	30億1,362万円
・村たばこ税	6,251万円
・その他税	2,111万円

一般会計

質疑

問 海部郡町村会の負担が3倍になっているが、その理由は。

答 今までは蟹江町の再任用職員で対応していたが、町村会で雇用し3町村で分割することになった。

問 新設の防犯灯工事費が29年度に比べると数のわりに高いがどういうことか。

答 29年度までとは違い新たに大宝と竹之郷に長距離を整備したため、配線・ポールを設置などの整備費がかかっている。

問 この工事の執行率は58%だが、未執行の部分があるのか、入札の結果なのか。

答 当初予定していた工事は完了している。工事内容の見直しにより

安く済んだと理解している。

問 観光交流協会の補助金、内容と成果について聞きたい。

答 ワークショップやとびマルシェの開催費用が大きなものである。2回目のマルシェには1300名ほどお越しただき、飛鳥村の知名度の向上、村民のシビックプライド醸成等が図られた。

問 障害者医療審査支払手数料は平均月額で説明してあるが、予算では単価と人数で示しているがどうか。

答 次年度から概要と目的に合わせた表記をする。

問 地域創生事業委託の内容について説明を。観光交流協会ですべてのものなかアイス開

答 発費が主なもので、他には観光交流協会の法被のデザイン費などがある。

問 この事業は5年間の計画だったと思うが、今後どのように考えているか。

答 地域創生事業は5年で区切りをつけたい。その後は観光交流協会が開発等を行っていたきたい。

問 木造住宅の耐震診断・耐震改修について、今後の見通しは。耐震改修にはかなりの費用がかかるので補助が受けやすくなるよう考えてほしい。

答 該当家屋の所有者に直接、耐震診断を受けていただくよう通知し、診断を受けられた方には改修を促している。今後も継続して働きかけていく。

問 小中一貫教育支援委託とは。

答 小中一貫教育の9年

間を振り返り、客観的な判断で成果や課題をまとめ、義務教育学校に生かしていくための委託。

討論

反対：橋本 渉 議員

豊かな財源があるので、給食費の無料化や老人医療費の無料化を進め、もっと住民の負担を減らしていくことが必要だと考え反対する。

賛成：加藤 光彦 議員

安心・安全・安定の村づくり推進に向け、事業計画に沿って適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算執行を望み、村民の生活環境の向上に努力することを願う賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

特別会計

(千円以下切り捨て)

決算額

会計名		歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険		5億5,401万円	5億3,327万円	2,074万円
農業集落排水処理施設事業		1億4,754万円	1億4,139万円	615万円
土地取得		39万円	39万円	0円
介護保険	保険事業勘定	4億4,826万円	4億3,317万円	1,509万円
	サービス事業勘定	48万円	46万円	2万円
後期高齢者医療		8,052万円	8,019万円	33万円
宅地造成事業		9,662万円	9,662万円	0円

国民健康保険

質疑

問 平成30年度の医療費

はどうか。

答 当初の見込みより1

カ月当たり60万円ほど

増えており、補正予算

問 保険料の住民負担は均等割・平等割の部分が高いので低所得者層に対する負担が増大していると思うがどうか。

答 平成30年度から広域化になり、基本的には標準保険料率で試算はするが、村では住民負担増にならないよう、結果的には資産割の税率を下げた。

討論

反対：橋本 渉 議員

豊かな財政を持つているにも関わらず、保険料の住民負担は大きい。もともと安い保険料設定ができると思うので反対する。

賛成：上田 光彦議員

増加傾向にある医療費と少子高齢化の社会情勢を鑑み財政確保に努めている。保険事業の充実により住民の健康維持・増進に努力を願ひ、堅実な国保財政を望み賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

農業集落排水処理施設事業

(全員賛成で認定)

土地取得

(全員賛成で認定)

介護保険

質疑

問 歳入決算を見ると保険料は予算に比べて増額となっているが、それ以外はほとんど減額となっている。これは介護給付費の支出が高めの予算だったために国や県からの支出金も高く組んであったためではないか。

答 第7期介護保険計画での介護給付費の見込みのとおり、今後も高齢化は進み介護認定を受けられる方も増えることを想定し予算を組んでいる。

問 介護給付費を高く見積もることにより介護保険料が高くなるので介護給付費の設定をもう少し絞ってほしいと思うがどうか。

答 介護給付費をなるべく抑えられる運営ができるよう、一般介護予防を含め介護保険事業を運営していく。

討論

反対：橋本 渉 議員

介護保険料は県下で高いほうである。もともと介護保険料を安くすべきだと思うので反対する。

賛成：鈴木 康祐議員

高齢化が急速に進展する中、これまで以上に介護予防事業を積極的に展開するとともに、適切な介護保険サービスを受けられる運営を願ひ賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

後期高齢者医療

討論

反対：橋本 渉 議員

この会計はお年寄りの医療水準を低下させたり、負担を増大させるために作られた会計制度であるので反対する。

賛成：井田 晴己議員

この会計は高齢者の保険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受けられるようにするための制度である。今後も増え続ける高齢者医療費を国民すべてで支える保険事業のさらなる充実を願ひ賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

宅地造成事業

(全員賛成で認定)

基金名		平成30年度末現在高
財政調整基金	現金等	9億円
地域整備基金	現金等	61億4,143万円
減債基金	現金等	2,818万円
国民健康保険財政調整基金	現金等	1億5,170万円
人材育成基金	現金等	5億1,000万円
地域福祉振興基金	現金等	1億3,819万円
土地開発基金	不動産(土地 雑種地)	4,514.00㎡
	現金等	1億6,315万円
介護給付費準備基金	現金等	3,973万円
基金合計	現金等	80億7,238万円

監査委員の決算審査意見

令和元年7月12日から7月29日にかけて監査委員伊藤幹男氏、鈴木康祐氏により、決算審査が行われました。一般会計、特別会計、土地開発基金の運用状況を審査した結果をまとめ、8月26日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

平成30年度一般会計、特別会計の歳入歳出に関する調査書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。また、基金の運用状況を示す書類の計数についても特に問題とする事項はありませんでした。

野に重点的かつ効率的に予算が配分されました。歳入の根幹をなす村税については、収入確保に十分努力したものと認められますが、引き続き徴収率向上に向けて努力するとともに、滞納者の経済状況等を精査し、適切な滞納整理が実施されることを期待します。

平成30年度の予算編成は、国の景気は緩やかな回復基調の中にあるものの、法人村民税の増収が見込めない状況での編成となり、村民の安全安心を第一に考えた防犯カメラの設置を始め、真に必要な分

また、村の資産及び物品

の管理については、良好の状態において管理するとともに、所要の目的に応じた効率的な運用及び使用に努めてください。

最後になりますが、第4次総合計画の後期基本計画に掲げる「子どもがすこやかに育つむらづくり」「住民が交流を深めるむらづくり」「安心して生活できるむらづくり」を重点として、「私たちが育む村をみんなで育てる」の実現に向け、引き続き着実な施策の推進が図られることを要望して審査の結びとします。

審査意見より(要旨)



意見書を村長に手渡しする委員